

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-25 老人センター等管理運営事業 □支援部門						
主管課	高齢者いきいき課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
事業の対象者数	62,533人	61,843人	61,843人				
運営資源状況	決算値(千円)	191,760	190,384	203,667			
	(国・県)	10,761	5,933	0			
	(負担金等)		0	0			
	(一般財源)	180,999	184,451	203,667			
	人員配置数	0.8	0.8	0.8			
	人件費(千円)	7,304	7,118	7,492			
	協働のパートナー	無	無	無			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	199,064	197,502	211,159			
	市民1人当りの経費(円)	1,123	1,115	1,195			
	対象者1人当りの経費(円)	3,183	3,194	3,414			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
60歳以上対象者数延利用者数	○	目標値	61,843人	61,843人	62,553人	63,092人	
		実績値	155,020人	155,003人	159,003人		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
老人センター等管理運営事業	191,760千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E		
	事業の概要	名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び老人いきいきの家こゆるぎ荘の管理運営業務を、指定管理者に委託した。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	築30年を経過している施設もあり、老朽化対策としての修繕が課題である。
課題解決のための取組	建築物定期点検の結果を踏まえ、計画的な修繕の実施に努めた。
未解決の課題	耐震診断未実施の施設もあり、計画的に耐震化・老朽化の対策を講じる必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			計画的な修繕を実施していくとともに、利用ニーズに応えるべく指定管理者・利用者との協議をしながら改善に努めている。	↓ B	課長等名 高齢者いきいき課担当課長 筒谷 正明

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
老人センター等 管理運営事業	1034	維持修繕料	23,208	21,775	■適切 □見直し余地あり
	1034	老人福祉センター等指定管理委託料	169,986	169,986	■適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり